

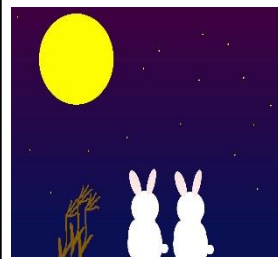


2018年(平成30年)

10月1日 第3号

中央区医療介護  
サポートセンター便り

発行 中央区医療介護  
サポートセンター  
住所 神戸市中央区橋通  
4丁目2-1  
芳川ビル3F  
中央区医師会内  
TEL 078-351-2270  
FAX 078-351-2271  
担当 静間・辻村



## § 第1回 訪問看護と訪問介護の交流会 §

テーマ:「垣根を越えた連携を!  
~その人らしい生き方を支えるチーム  
作りに大切なこと~



\* 今回、中央区サポートセンターでは初めて訪問看護と訪問介護の交流会を開催しました。

[アンケート結果より]

・垣根を感じた時

☞ 各々の役割を正確に理解できない。仕事内容や時間等、知らないことが多い。

・情報共有がうまく行かなかった

☞ 略語、専門用語の多用。サービス担当者会議で顔を合わせたことがなかった為、情報伝達が遠慮気味になり、必要な情報が共有できなかった。

・実践の場で多職種と連携を図る上で工夫していること。

☞ 直接会って話す。出来るだけ文章で連絡する。いつも笑顔でやさしく!!

## § 平成30年度医療と介護連携のための交流会 §

テーマ:「医療と介護の連携術~顔が見える関係からもう一步前へ~」

### § 一部 §



活発な意見交換の真最中

交流会では、平成28年度は職種間の関係性をテーマに、平成29年度は連携のためのアイデアや具体的な取り組みを多職種で話し合ってきました。3年目を迎えた今回は、実際の連携において活用できる内容や仕組みづくり等、今までの顔が見える関係から一步深まる話し合いを行いました。



皆さん熱心な表情です

### § 二部 §



立食しながら発表

一部で「医療と介護の連携術」について各グループで話し合った内容を、模造紙にまとめ、懇親会会場に貼り出し、立食しながら、皆さんが普段お話しできない先生方や、職種を越えた方々と交流され、リラックスした雰囲気の中、小川先生の司会により各グループから連携の工夫について発表がありました。



先生とも気楽にお話し

# 中央区医療介護サポートセンターでは このような相談を受けています。

## 相談内容

## 対応結果

### 相談1



#### 【患者様について】

アルコール依存、認知症の患者様で、老々介護の為、奥様の介護疲れが心配。どこに相談したらよいか。

診療所・クリニック  
医師からの相談



先生から患者様の状況や情報の収集を行い、相談内容の整理を行った後、患者様の住所地の圏域のあんしんすこやかセンターへ連絡。奥様とあんしんすこやかセンターを繋げることができました。

### 相談2



#### 【訪問診療医の紹介】

がん末期の女性。退院後、在宅(看取り)へ帰られる。海外生活が長く、日本語が殆ど通じない方で、ご主人は外国人。英語で対応可能な訪問診療医を紹介してほしい。

病院の看護師  
からの相談



先生方と相談を行い、英語で対応可能な訪問診療医の情報の収集を行い、訪問診療医をご紹介することができ、在宅移行に繋げることができました。

## ★ 次回の研修のご案内 ★

### \* 第27回多職種事例検討会

#### テーマ

「在宅でみる嚥下機能障害 ～最後まで食べる喜びを～」

平成30年10月24日(水)19時から 神戸市医師会館4階大ホール

### \* 第7回中央区在宅医療・介護セミナー

#### テーマ

「知っていますか？多様な住まいのかたちと受けられる医療  
～自分らしい暮らしを続けて行くために～」

平成30年11月10日(土)14時から 神戸市医師会館3階市民ホール

